

まち歩きで深めるフューチャー・デザイン・ワークショップ
～浅間温泉を舞台とした取組より～

Future design & Social work study group

【長野県社会福祉協議会×信州大学】

長野県社会福祉協議会と信州大学経法学部との間で、以下の事項について連携、協力することを約した協定書を締結（2023年2月9日）

- 1 **フューチャー・デザインとソーシャルワークの融合に関する研究**
- 2 **地域福祉活動へのフューチャー・デザインの実装**



【フューチャー・デザイン&ソーシャルワーク研究会】



History of workshop

2024.10
25名参加

「近視眼的思考からの解放と実践の開花を目指して」



2023.12
34名参加

「未来の“私たち”に学ぶ、新しいソーシャルワーク実践」



主催 (organized by)

フューチャー・デザイン
& ソーシャルワーク研究会

2023.3
30名参加

「未来における社協の役割と実践」



**social work × future design workshop
2024**

Purpose and participant

目的

暮らしの時間的なつながりを意識し、地域との関係のなかで、未来を見据えた対話や学びを重ね、今まで当たり前と認識してきた**近視眼的思考から解放**され、**持続可能な地域の日常生活を実現**するため真に必要なものを見つけることを目指す。

参加者

福祉関係者（**ソーシャルワーカー**）

- ・ 新たな視野を獲得し自らの普段の意識や具体的な取組、実践を変えていきたい方
- ・ 今まで思い描いてきた自分の福祉観を変えたい方
- ・ 支援するという意識や関係を変えたい方
- ・ 未来を慮る思考を獲得したい方 など

The setting is Asama Onsen.

ワークショップの舞台は松本市「浅間温泉」



仙気の湯



宮島商店



梅の湯



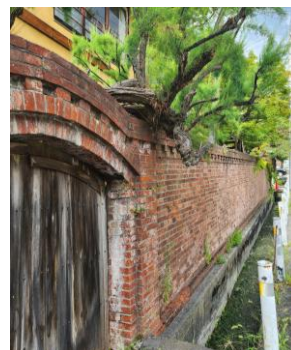
ウエストンホテル



哲学と甘いもの。



平和堂



レンガ壁



竹の湯



旧浅間温泉駅



Workshop Map

1日目

【アイスブレイク】

今暮らしている地域の良いところを持ち寄ろう



【将来世代ワーク・まとめ】

未来人になって、過去に感謝しよう



【情報提供】

浅間温泉の今と昔



※浅間温泉旅館協同組合HPより

【まち歩きワーク】

実際に浅間温泉を歩いて今と昔の暮らしを発見しよう

- A「復活の饅頭」コース
- B「芸妓のくらし」コース
- C「路面電車の旅」コース
- D「お湯物語」コース



2日目

【地図ワーク】

浅間温泉の暮らしのつながりを地図に落とし込んでみよう



【未来トリップ】

将来世代のなり方マニュアル



参加者共通の舞台を設定



※浅間温泉観光協会HPより

2024年10月、ソーシャルワーカーを対象とした3回目のワークショップを開催した。個別の支援や地域づくりにおいて、近視眼的になりがちな実践から脱却することが目的の一つ。

過去のワークショップでは、将来世代になることはできたが、それぞれがタイム・トリップした未来が様々になって、共通化されなかった。

今回は、参加者は県内様々な地域から集まったが、**同じ舞台（浅間温泉）を設定**することで、共通した素材や資源などをもって、現在、過去、そして未来が語られるようになった。



語り（narrative）が過去・現在・未来をつなぐ



今回のワークショップでは、初めて「まち歩き」の手法を組み入れ、参加者が実際に浅間温泉の街なかを歩きながら、**過去から引き継がれてきた地域の暮らしを発見**し、そこに流れている**時間のつながり**を体感した。

まち歩きの途中、住民の方から直接過去の暮らしを語っていただいた。今はもうないもの、今でも大切にされていること、形を変えて現在に受け継がれているものというように、**時の流れのなかにある語り（narrative）**から、過去と現在がつながり、その物語によって参加者は未来へ誘われた。

その未来は、決して技術革新がすべてを解決しているような夢物語のなかにある暮らしではなく、まさに持続可能な暮らしを実現している地域社会であり、そこに参加者が皆が共通して身を置くことになった。

参加者アンケートから

問 2024年10月のワークショップを経験した後で、あなたのふだんの生活や業務の中で、将来世代や未来のことを意識する機会がありましたか。

あった

▶仕事の中で、目先の課題解決ばかりに目がいていましたが、まず**将来のありたい姿**を考えるとということを**意識するようになり****ました。**

あった

▶利便性を上げることが必ずしも**後世のため**になるとは限らないことを、何か判断が必要なことがある度に**思い出していた。**

あった

▶もともと**未来世代を意識**して行動、発言していましたが、より**確信となり強化された**ように思います。

どちらかといえばあった

▶事業に取り組むうえで、直ぐ出てくる結果だけではなく、その**先のことを考え**、今何をするか広く捉えて**動いた。**

※本アンケートは、ワークショップ開催から6か月後の2025年4月に実施しました。

What is social work ?

ソーシャルワーク専門職のグローバル定義

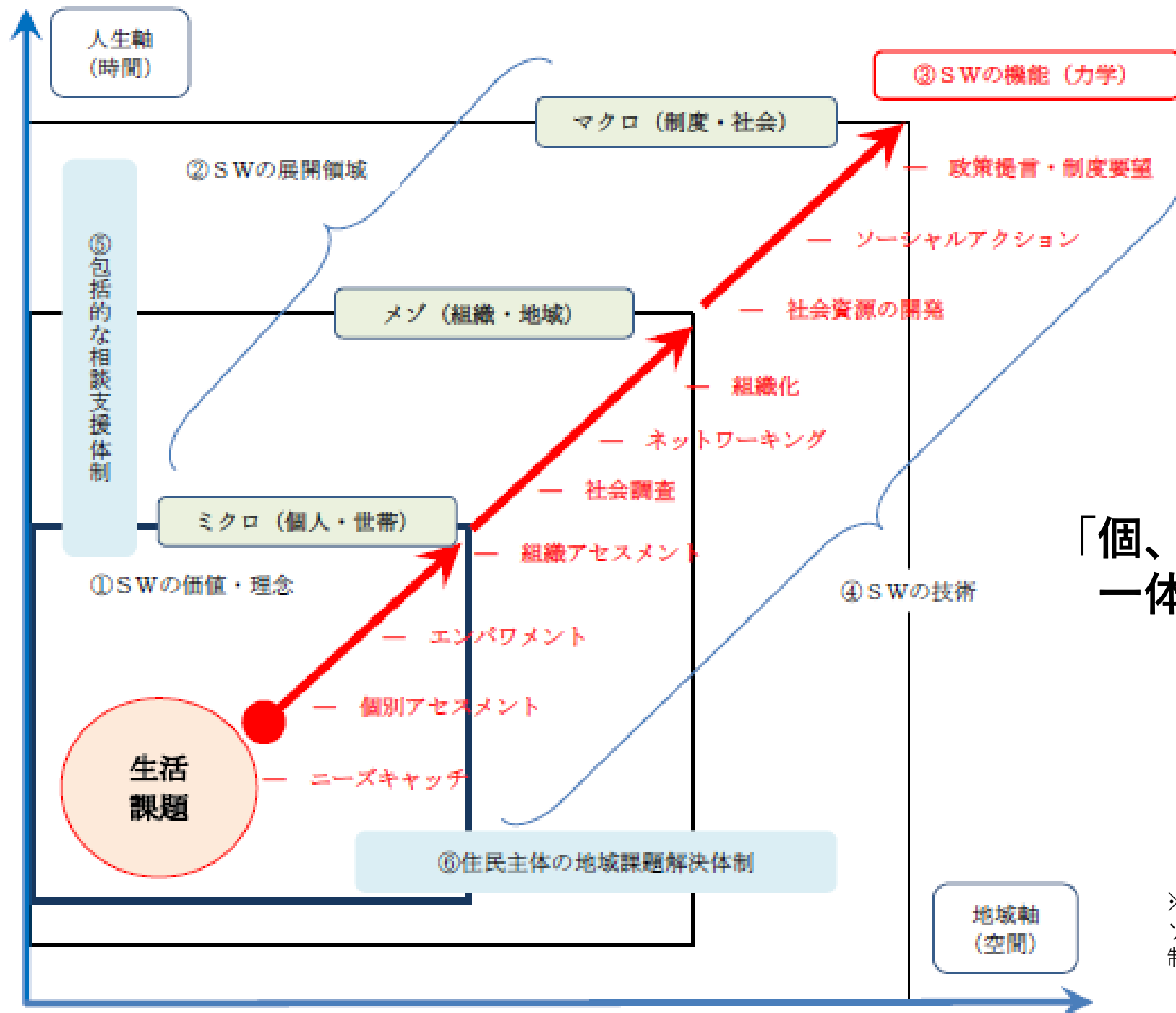
ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、そして人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問である。

（中略）ソーシャルワークは、生活課題に取り組みウェルビーイングを高めるよう、人々やさまざまな構造に働きかける。

Global Definition of Social Work

Social work is a practice-based profession and an academic discipline that promotes social change and development, social cohesion, and the empowerment and liberation of people.

(...) social work engages people and structures to address life challenges and enhance wellbeing.



「個、地域、社会への
一体的な働きかけの総体」

※長野県社会協議会作成「地域を基盤とした
ソーシャルワーク機能強化に向けた総合相談体
制整備事業報告書」(2019年3月)より